



5月になり、中学部、高等部では作業学習が本格的にスタートしました。今回の進路だよりでは、今年度の中学部、高等部の作業学習班について紹介します。

## 中学部



### 陶芸班

陶芸班では、粘土を使ったお皿やマグカップなどを作っています。生徒は、粘土練り、のびし、成型、流し込みなどの各工程を一人一人の得意なことを生かして分担し、作業に取り組んでいます。生徒が形作ったものは、本校に設置されている陶芸窯で焼くことで、製品が出来上がります。生徒が一つ一つ、使ってくださる方の笑顔を思い浮かべ、心を込めて手作りしています。



角皿

### 手工芸班

手工芸班では、クラフトバンドを使った「クラフトコースター」とくるみボタンを使ったヘアゴムやマグネットの「くるみちゃん」の製作をしています。「クラフトコースター」は、バンド切り、バンド貼り、へり貼り、ニス塗りなどの工程を分担し、丁寧に製作しています。いろいろなイメージでバンドの色を選び、カラフルなコースターを作っています。



コースター

### リサイクル班

リサイクル班では、空き缶のリサイクル活動を行っています。缶運び、缶洗い、プルタブ取り、缶つぶしの工程を分担して取り組んでいます。また、昨年度から新製品開発に向けて進めており、広告用紙を再利用したペン立て作りを行っています。今年度中には、アンテナショップ「はーとふるショップいな」で製品販売する予定です。



ペン立て

## 高等部



### エコワーク班

エコワーク班では、今年度も古新聞紙を利用して「油吸い取りパッド」と「エコポット」を製作しています。今年度は生徒全員が初めてのエコワーク班所属ということで、4・5月は油吸い取りパッドの作り方を覚えることを目標に作業に取り組みました。また、「エコポット」は、今年度もかわいい多肉植物を寄せ植えにして販売いたします。こちらも、水やり、追肥をして、着々と準備が進んでいます。



### 工芸班

工芸班では、湯沢市稲川地区の伝統工芸である「川連漆器」の技術を生かして、工芸うるしを使った塗り製品（マグネットバーや麻袋コースター、お盆など）を製作しています。木地師、蒔絵師、塗師の伝統工芸士さんに川連漆器の技法を学び、作業技術を向上できるように頑張っています。地域の職人さんから様々なアドバイスをいただくことで、地域の伝統工芸の特徴を知り、製品の品質を向上させたり、新製品の開発につなげたりしています。



### 農耕班

農耕班では、ふれあい農園で枝豆やさつまいもなどの野菜を育てています。草取りや畝立て、マルチ掛けなどの各作業を、友達と協力したり、相談したりしながら、効率的に進められるようにしています。また、今年度も湯沢市の和菓子処「わかさ」とともに、収穫した小豆などの作物を使って和菓子を開発し、販売会にて販売する予定です。



### 縫製班

昨年度までの染め班とレザークラフト班が一つになり、今年度から新たに「縫製班」として作業学習に取り組んでいます。これまでの布やレザーを使った製品作りに取り組みながら、さらに布とレザーのよさを生かしたコラボレーション製品の開発にも取り組んでいく予定です。縫製班の作業心得である「丁寧」「協力」を班員が意識しながら、お客様に喜んでいただける製品作りを進めています。



### 総合サービス班

総合サービス班は、今年度新たに立ち上げた作業班です。基本的な清掃技術を身に付け、校内外の清掃活動や整備活動を行っています。今後は地元企業の清掃業者からご協力をいただき、技術を学んだり、培ったことを生かして、地元施設の清掃活動を行ったりしたいと考えています。また、生徒同士で話し合い、清掃場所を決めて清掃計画を立て、実行していきたいです。

